

## 【事業実績】

中核館である泉屋博古館東京において、中国古代青銅器の3Dデジタルコンテンツを活用した新たな鑑賞・教育モデルの構築およびその地域的波及に関する事業を実施した。

### 1. 中国古代青銅器展の企画・開催

(1) 展覧会の開催「不変／普遍の造形—住友コレクション中国青銅器名品選—」

会期：2023年1月14日（土）— 2月26日（日）（開館38日間）

来館者 8,650名（会期38日、平均227名/日）



【来館者の声】・6歳児と来ましたが、とても楽しかったそうです。青銅器の面白さは子供でもあるていどわかるようなのでもっと知りたいと思いました。

(2) デジタルコンテンツの作成・公開

・3Dスキャン・高精細撮影を実施（2022年12月）

・撮影データを元にしたコンテンツを作成

① 解説映像3種

→展覧会期間中、講堂前サイネージおよび講堂内で上映した

② 虎貞ホログラム

→展覧会期間中 第4展示室  
「青銅器鑑賞の歴史」にて展示

③ 鴟鵂尊（しきょうそん）3DAR

→デジタルスタンプラリー3館達成の景品  
デジタルフォトフレーム「おでかけしきょうそん」に使用

【来館者の声】・3Dの映像良かった

・映像コーナー面白く、ためになりました。TikTokで短くたくさん出して、若者にも興味をもってもらおうとかなーと思いました。

・映像コーナーで、どのように使うのか、模様などの映像のおかげで、とてもよくわかりました。文字だけで想像したことが合っていたとか、ちょっとちがっていたとか、とても楽しめました！ありがとうございました！

・3D映像でみるのは普通に見えない角度や、使用イメージの再現などとても興味深かったです。

・解説映像および展示室VRのWEB公開（2023年3月28日）

<https://sen-oku.or.jp/2303youtube/>



## 2. 根津美術館との連携による展示関連イベントの開催

連携先である根津美術館、おなじく港区に所在する松岡美術館とともに、それぞれの館に所蔵されるコレクションの特色および収集経緯を一般向けにわかりやすく解説トークイベントを共催し、港区にとっての中国古代青銅器コレクションの特徴および意義を伝え、共有した。あわせて三館で連携してデジタルスタンプラリーを実施、各館に足を運び実際に作品を鑑賞する流れも作ったことで、港区内における美術館の取組に対する幅広い層の注目を集めることができた。

### (1) 「港区内3館をめぐる 中国古代青銅器デジタルスタンプラリー」実施

2023年1月14日(土) - 2月5日(日) 参加者178名、3館達成者53名  
(告知ページ) <https://sen-oku.or.jp/digitalstamp2023/>

### (2) トークイベント I 「港区青銅器サミット 2023」実施

2023年1月21日(土) 13:30 - 15:30 参加者47名



#### 【参加者の声】

- ・今回港区内3ヶ所での青銅器展示を回っております。こうした連携でのイベントを今後も期待します。
- ・港区青銅器サミット 2023 大変楽しく勉強になりました。2024年も是非開催お願いいたします！  
青銅器の手のひらサイズフィギュアとガチャ希望です！
- ・東京でこんなにたくさんの青銅器を観られる場所があるとは知らなかった。

## 3. 東京学芸大学との連携による公開講座・ワークショップの実施

### (1) トークイベント II

「謎の古代文字 一金文鑑賞入門」実施  
日時：2023年1月28日(土) 13:30 - 15:30  
参加者46名

### (2) ワークショップ

「鋳物体験—古印をつくろう—」  
日時：2023年1月29日  
①13:00 - 15:00、②15:30-17:30  
参加者計39名



\*トークイベントII・ワークショップ連続参加者9名

#### 【参加者の声】

- ・印作りが大変楽しかったです。またやりたいです。